



## 特集

芸術で地域を拓く、芸術で世界を拓く  
佐賀大学生の就職事情  
性別に関わりなく、学び、働き続けやすい環境づくりのために

## 学長対談

元内閣官房副長官 古川貞二郎さん

## イキイキ佐大生

佐賀大学オリジナル清酒「悠々知酔」  
少年サポートボランティア るぴなす

## 研究紹介

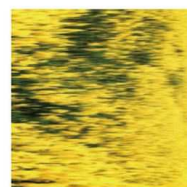
人工関節術後感染症の撲滅に向けて

## 地(知)の拠点整備事業

天然記念物ヤマネの新たな生息地

## サークル紹介

## お知らせ



# 芸術で地域を拓く、 芸術で世界を拓く



こ 小坂 ひとみ  
副学長

## 新しい学部の誕生

平成28年4月、佐賀大学に新しい学部が誕生します。全学的な改組、佐賀県立有田窯業大学の佐賀大学統合、そして佐賀大学の強みといえる美術・工芸の伝統を基盤に、芸術地域デザイン学部は構想されました。

本学部は、芸術を通して、地域創生に貢献する人材を養成します。創造力と感性、そしてコミュニケーション能力は、これからの社会において求められる重要な資質です。芸術・文化を学ぶことで養われるこうした資質は、文化芸術領域のみならず経済活動においても重視されています。

私たちはどのような形で、芸術と出会うのでしょうか。芸術はそれを創造する人々がいることで成り立つことは言うまでもありませんが、創造には、社会状況や環境などが深く関係してきますし、生み出されたものを受けとめ、その力を生かすのは、社会であり人々です。

芸術地域デザイン学部では、芸術を創造する人材や、社会の様々な場面に芸術を発信し芸術文化と人を結ぶ人材、そして芸術的感性や視点を有して社会にかかわり、地域創生に貢献する人材を育てていきます。

## カリキュラムの特長／主体的に学ぶコア科目

芸術地域デザイン学部のカリキュラムは、こうした人材養成像を見据え、新しい学部ならではの学びを取り入れていきます。

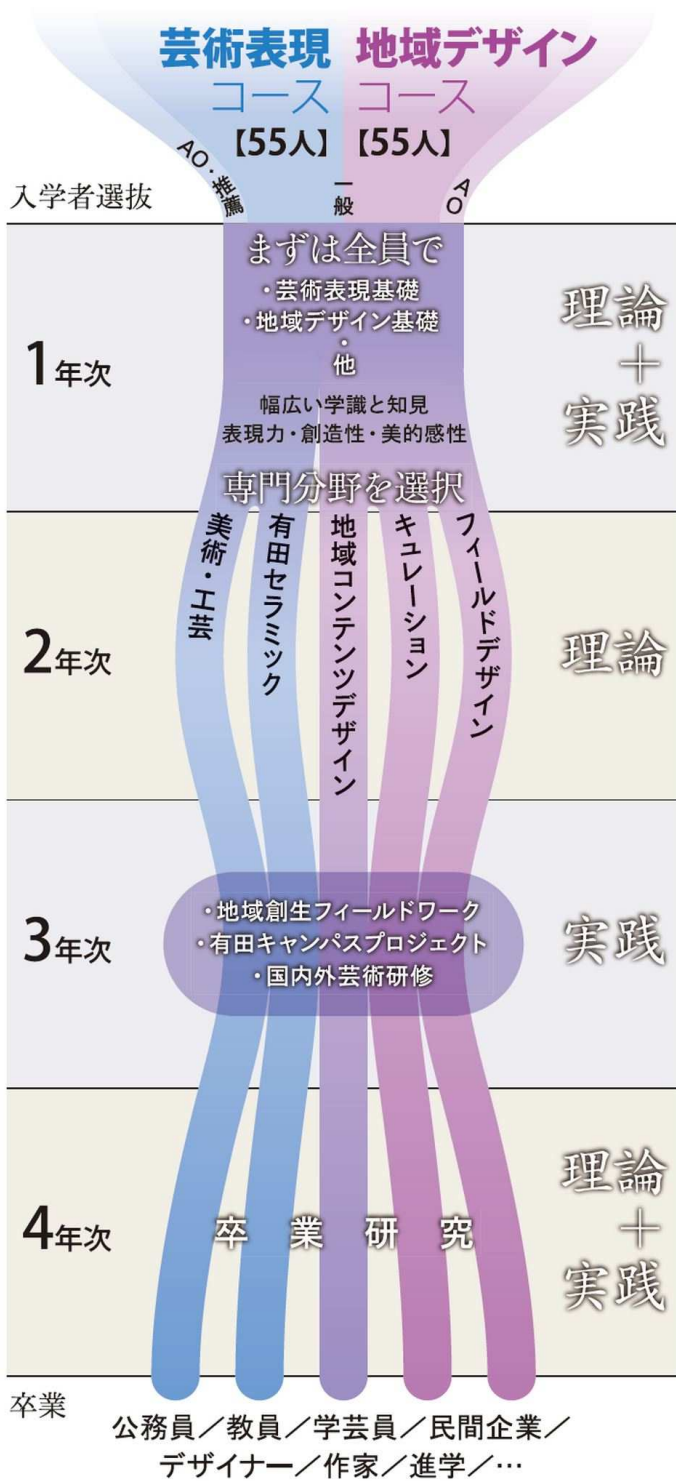
芸術を自ら創造・表現し、地域創生に貢献する人材を養成する「芸術表現コース」と、文化芸術を支え、新たな付加価値を生み出し、地域創生に貢献する人材を養成する「地域デザインコース」の2つのコースがあります。

1年次は、表現すること、地域をデザインすることに不可欠な基礎力である「発想する」「形にする」「伝える」の基礎を学びます。2年次では、それぞれの進路に合わせて、芸術表現コースの美術・工芸と有田セラミックス、地域デザインコースの、キュレーション、フィールドデザイン、地域コンテンツデザインの計5つの分野に分かれ、理論を身につけます。有田セラミック分野の学生は、統合される現・佐賀県立有田窯業大学の恵まれた環境で学び始めます。3年次になると専門性を深めると同時に、その専門性を生かし、地域社会の中で学生が協働して、課題に取り組みます。4年次は、専門のさらなる深化を

図り、集大成としての卒業制作・卒業論文をまとめます。

各年次にはコア科目という特徴的な必修科目があります。1年次の「芸術表現基礎」「地域デザイン基礎」は、コースの垣根を超え協働しながら芸術の発想を学ぶと同時に、芸術の発想を伝え、発信するための基礎となる力を付ける重要な科目です。3年次の「地域創生フィールドワーク」、「有田キャンパスプロジェクト」においては、両コースの学生が地域社会の中に入り、課題を発見し、地域資源を生かした企画の展開を図ったり、大型の作品制作に取り組みます。「国内外芸術研修」では、社会における芸術の在りかや遺産の活用などを、地域や海外の場で研究する実習となります。

「芸術で地域を拓く、芸術で世界を拓く」ことのできる人になる。4月には一期生が新しい学部で、晴れやかに一歩を踏み出します。



### 芸術表現コース

- 美術・工芸を多面的かつ総合的に学習
- 手わざを基礎に、それぞれの表現を探究
- 視覚伝達・グラフィックデザイン分野の専門性を習得



### 美術・工芸分野

- 陶磁器・ファインセラミックスをトータルに学習
- 学びの舞台は、世界が認めた「有田」



### 有田セラミック分野

### 地域デザインコース

- 学芸員としての専門知識とスキルを学習
- 地域の歴史・文化に根ざした幅広いカリキュラム
- 国内外の文化産業の現場に対応する実践力を養成



### キュレーション分野

- 芸術を軸にしたフィールドデザインを探究
- 地域密着型科目と専門科目を融合



### フィールドデザイン分野

- さまざまな地域資源をデザインの手法を使ってコンテンツ化し、地域創生に貢献
- 映像、コンテンツ、情報の各デザイン分野の専門性を習得



### 地域コンテンツデザイン分野

## 芸術地域デザイン学部開設記念展 芸術で地域を拓く、芸術で世界を拓く



2016年  
**3月21日**(月・祝)  
 ~**5月8日**(日)

**会場** 佐賀大学美術館

**開館時間** 10:00~17:00  
※月曜休館(月曜祝日の場合は翌火曜日)

平成26年度就職率97.8%!

# 佐賀大学生の就職事情

佐賀大学の平成26年度就職率は97.8%と、前年度と同じく、非常に高い水準を維持しています。高い就職率を維持できる理由として、佐賀大学では「面倒見の良い大学」を目指し、キャリアセンターだけでなく各学部・学科がその専門性や特徴に対応したキャリア教育・就職支援・個別指導を実施していることがあげられます。またキャリアセンターは各センターとも連携し、個々の学生の状況や

## 高い就職率の理由



ニーズに応じた就職支援を実施できる体制を作っています。各学部・学科・センターとキャリアセンターが連携しながら、大学全体で就職支援に取り組む体制が、高い就職率の理由だと言えます。

## 佐賀県への就職事情

学生の就職における地元志向は年々高まっています。しかし地元での就職先と言えば教員か公務員、一部の有名企業しか分からないという学生も多く、教員や公務員だけを指し、進路が決まらないまま卒業していく学生もいます。一方で、地元佐賀の優良企業からの求人数は年々増加しています。そこでキャリアセンターでは、早期から地元優良企業の情報を学生に提供したり、地元企業・自治体と共に学生を育てるキャリア教育を実施していきます。

## すべての学生が納得できる進路を歩めるように

ここ数年、就職活動のスケジュールが毎年変更となつていきます。その影響で企業の採用情報を見逃し、希望していた企業の選考に参加できなかったケースもありました。また、佐賀は九州に位置しているため、首都圏などでの就職活動では交通費等予想以上の出費になることもあり



学生相談風景

ます。思うように就職活動が進まず、一人で悩みを抱える学生もいます。キャリアセンターではその年の就職活動スケジュールに合わせたガイダンス・講座等を実施するとともに、一人でも多くの学生が、納得できる進路を歩めるよう最後まで全力でサポートしていきます。今後とも地域の皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



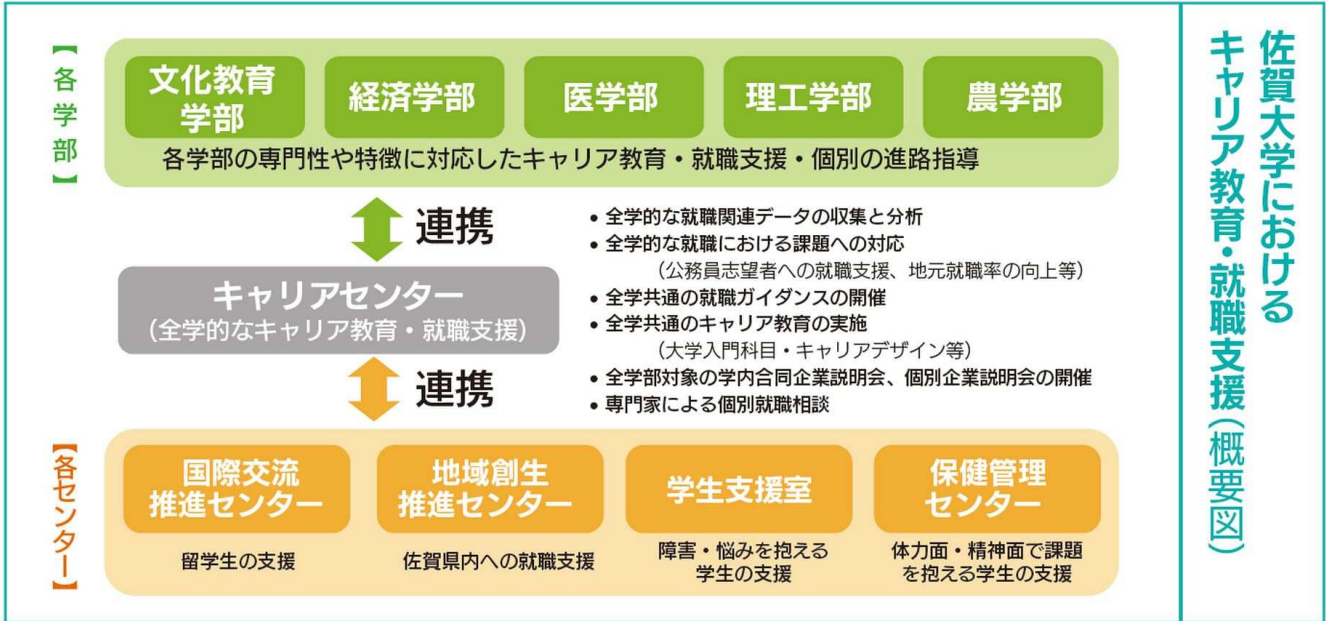
合同会社説明会

学 部						大 学 院							
文化教育学部	経済学部	医学部	理工学部	農学部	計	教育学研究科	経済学研究科	医学系研究科(修士)	医学系研究科(博士)	工学系研究科(博士前期)	工学系研究科(博士後期)	農学研究科	計
卒業・修了者数(人)	247	261	167	469	1,307	39	6	23	15	177	26	37	323
就職率(%)	94.8	95.6	100	98.4	97.2	94.7	100	-	100	98.7	100	93.8	97.8

民間企業総求人人数:3,511件 (うち所在地が佐賀県の求人数:205件)

※就職率は  $\frac{\text{就職者数}}{\text{卒業・修了者数} - \text{非就職希望者}}$

平成26年度  
佐賀大学就職状況




坂下 真規  
工学系研究科 博士前期課程  
知能情報システム学専攻

私は、人工衛星を利用して地球資源の探査や防災などを行う会社に進路が決まりました。私の年の就職活動は、以前より、就職活動のスタートが遅くなっているため、慌ただしい就職活動になってしまいました。しかし私は、宇宙業界と絞って就職活動をしていましたので多くの会社を受けずに済みました。就職活動で大変だったことは、交通費です。宇宙業界の会社は九州に

あまりないため、交通費がかさんでしまいました。佐賀大学のキャリアセンターでは、主にエントリーシートへの添削を行ってもらいました。文章を書くことが苦手なこともあり、とてもお世話になりました。これからは、会社が行っている業務について積極的に学び、知識と技術を身につけることが目標です。将来は、人工衛星を用いて人が幸せになる社会を創造していきたいです。



鶴田 有香  
文化教育学部  
学校教育課程

私は教員採用試験に合格し、春から佐賀県の小学校で勤務します。大学4年間を通し、教育実習はもちろん、教育ボランティアに積極的に参加したり、サークルで小学生と交流したり、学習補助のアルバイトをしたりと、自ら進んで子どもと関わる機会をつくってきました。その中で、やはり自分は子どものことが大好きだ、教師という職業を一生の仕事にしたいと、さらに強く思うようになりました。教員採用試験を受けるにあたり、私は佐賀大学生協主催の講座を受講しました。一次試験の勉強と並行しながら、早い段階から二次試験の対策も行うことができたことは、大きな自信につながりました。また、大学の多くの先生方にもご指導いただきました。このような手厚いサポートや、切磋琢磨する仲間の存在があったからこそ、合格することができたと思っています。

新しい生活に期待も不安もありますが、一日一日を大切に過ごし、子どもたちと共に成長していきたいと思っています。

# 性別に関わりなく、

# 学び、働き続けやすい

# 環境づくりのために

〈佐賀大学における男女共同参画の取組〉

ともに学びやすく、  
働きやすい  
環境づくりのために

佐賀大学では平成21年に「男女共同参画宣言」を策定し、学生や教職員が性別に関わりなく、学び、働き、研究も続けやすい環境づくりに取り組んでいます。これまで意思決定の場に参加するチャンスが少なかった女性たちを積極的に登用しようという取組や、広い視野に立った男女共同参画を推進するため、ダイバーシティ（多様性）の観点も含みながらさまざまなイノリテイ（少数者）への課題にも目を向けています。

## 男女共同参画への取組の背景

佐賀大学では、平成16年度に女性教

職員が働きやすい職場環境を充実するための意識調査を実施し、平成20年度には「男女共同参画推進プロジェクト」が発足し、男女共同参画に関する意識調査やセミナー等の啓発活動が始まりました。平成21年度からは文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者支援モデル育成事業」に採択され、「女性研究者支援室」が設置されました。平成24年からは、学生や子育て中の男性の教職員も含めた幅広い男女共同参画推進事業を展開するために、名称を「男女共同参画推進室」に変更しています。「男女共同参画推進委員会」のもとで、三本柱（「ワーク・ライフ・バランス（WLB）支援部門」「キャリア支援・女性研究者支援部門」「意識啓発・広報部門」）を主軸とした活動を展開しています（図1）。

## 佐賀大学男女共同参画推進体制

学長

男女共同参画推進規則

### 佐賀大学男女共同参画推進委員会

- ◆ 男女共同参画の推進施策に関する意思決定
- ◆ 男女共同参画の推進状況の把握

### 男女共同参画推進室

- ◆ 男女共同参画の推進施策の企画・実施

ワーク・ライフ・  
バランス支援部門

全ての教職員の就業環境整備と「ワーク・ライフ・バランス」事業

キャリア支援・女性  
研究者支援部門

教職員の研究・教育活動、就業環境を整備するキャリア支援」事業

意識啓発・広報部門

男女共同参画の理念の周知とマインド醸成のための「意識啓発・広報」事業

人事課

研究協力課

人事課

関

係

各

課

各学部・各研究科

各機構・各センター

各部署男女共同参画推進委員会

(図1) 佐賀大学における男女共同参画推進体制図



みやちがおり  
宮地歌織

男女共同参画推進室  
特任助教



(図2) 女性研究者を紹介したミニロールモデル集

2020年までに30%

政府は「2020年までに指導的な立場にある女性の割合を30%にする」という目標を掲げています。この中には「女性研究者」も含まれます。欧米諸国と比較すると女性研究者の比率がかなり低いと、文部科学省は平成18年から女性研究者の数を増やす取組を始めました。佐賀大学でも平成21年から取り組み始め、当時14・1%だった女性教員の割合は平成27年では17・9%にまで増加していますが、まだ十分とは言えません。現在でもさまざまな啓蒙活動を実施しています(図2)。



(図3) 女子中高生を対象とした学内イベント。理系の女性研究者によるミニ実験もありました

次世代育成のために

平成25年から始まったインターフェース科目という新しい取組の中で、「男女共同参画とジェンダー」という授業も開講されました。その中では男女共同参画社会基本法などの法律や政策について学び、また家事や育児を頑張るパパたちや性的少数者の方々の多様な生き方、働き方のロールモデルを学生のみなさんに紹介しています。また佐賀大学男女共同参画推進室は平成27年度にJST(科学技術機構)による「女子中高生選抜応援プログラム」に採択され(大分大学との連携)、女子中高生とその保護者の方に対して、女性研究者による講演やミニ実験(図3)、あるいは8月のオープンキャンパス時の女子学生相談窓口の設置(図4)、あるいは佐賀県内の「ものづくり・ことづくり」に関わる企業や技術者の方々とのグループワークなどを実施しています。中高生のみなさんにも、仕事や研究などのさまざまなロールモデルの女性たちと接することで、ジェンダーの枠にとらわれず自分の能力を発揮してほしい、という強い願いが込められています。また平成24年には「くるみん」(厚生労働省の定める制度で次世代育成の行動計画の策定・実施をした機関に認められているマーク)を取得しました(図5)。学生の方々にとっては性別に関わりなく学びやすい場づくりを、働く教職員にとっては仕事や研究、子育てや介護との両立がしやすい環境になるようこれからも努力していきます(図6)。



(図4) オープンキャンパス時に女子大学生、大学院生の相談窓口を設けています

**IROIRO CAFÉ (色々カフェ) OPEN中**

男女共同参画推進室では、1〜2か月に一度、ランチタイムに、カフェにいるような気持ちで気軽に色々お話ができる「Iroi-ro (色々) café」を開催しています。今回は、女性の職員の方で、子育てをされている方向けの内容です。

「子育てと仕事はどうしてる? 〜特に育児復帰から両立しない方へ〜」

です。コーヒーを飲みながらお話ししています。

※「さあ、育児後からはじめよう〜働くママへの応援講座〜」(産休後コンサルタント 山口理栄氏)や「悩めるママに贈る心のヒント〜子育ての本音スケッチ〜」(産科助産師 大日向麻美氏)などの本も参考にしたいと思っています。

日時: 2015年7月31日(金曜日) 12:10-12:55  
場所: 本庄キャンパス学生会館2階 和室

ランチ持参でお越しください。申し込みは不要です。  
詳しくは、男女共同参画推進室・室長 (kmyyochi@cc.saga-u.ac.jp)まで。

\*今後のお知らせ... (詳細はウェブ、メールでお知らせします。)  
8月... お休み  
9月... 子育てと研究の両立  
その他、ご希望のテーマがあれば、推進室までお知らせください

(図6) ランチタイムに色々なテーマでお話をする「Iroi-ro café」を実施中

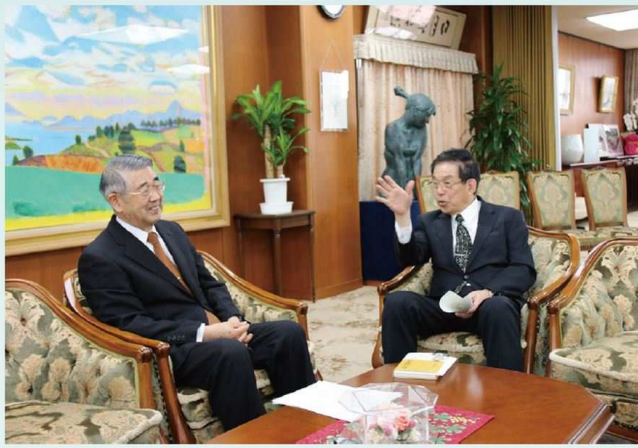
(図5) くるみん(佐賀大学)





元内閣官房副長官  
古川 貞二郎 氏

# わがふるさと佐賀への想い



とはあの辺りだよ」と指をさされたことを今でもおぼえています。まずは、ふるさと佐賀に対する先生の想いを聞かせてください。

**古川先生** まさに佐賀は私の原点です。もちろん、開発などで発展し昔見た風景とは変わってしまいました。心の中には父がいて母がいて、姉や妹、友達がいて、秀峰天山が見えて、川が流れてお地藏さんがいる、あの頃のふるさとが常にあります。中学の頃に読んだ『葉隠聞書』の「一念一念と重ねて一生になり」は、私の座右の銘になっています。「ねん」は年ではなく念じるということ。私なりに解釈すると、一瞬一瞬を大事にして生きる、その積み重ねが人の一生ではないかということ。まさに若い頃、佐賀で過ごした一瞬一瞬が、私の人生の支えになっています。

**学長** 佐賀県人として、ふるさと佐賀に対する先生の思いは本当に嬉しいです。佐賀大学にも是非エールを送っていただきたいと思えます。最近盛んに言われている「地方創生」においては、地域社会に貢献する人材を育成していくという点で、大学も大きな役割を担っていると云えますが、古川先生はどのように地方創生を進めるべきだとお考えでしょうか。

**古川先生** まずは、いかに魅力のある地域にするかということです。魅力とは、若者が働きたいと思える仕事があるとか、ゆったりとした空気が流れていて暮らしやすいとか。もちろん、それは簡単なことではなく、地域の中で知恵を出し合って工夫をしなければならぬし、地方活性化のためには都会から地方に会社や工場を移転するための税制を優遇するなど国と一体となった取組も必要です。大学は、国・自治体と地域社会をつなげる存在だからこそ、その役割は今後ますます大きくなると言えるでしょう。

歴史や文化をもっと誇りに思っているし、佐賀大学の学生にも、こんな素晴らしいところで学んでいるんだということを伝えたい。有田町の佐賀県立有田窯業大学校が佐賀大学に統合されるのに伴い、平成28年4月から芸術地域デザイン学部がスタートしますが、学生たちには学部の垣根を越えた広い視野で、文化的・芸術的な理解を広げてもらいたいと考えています。

**古川先生** 自分の専門の学問だけでなく、何か興味があるものを持つというところは学生生活において非常に重要なことです。人の一生は限られていて、とくに若い時の経験は限られている。だからこそ歴史を学ぶことで、真摯に生きた人の経験を知り、刺激を受けてほしい。たとえば、幕末から明治にかけての佐賀は、近代日本をリードするような優秀な人材を多数輩出してきました。鍋島閑叟というトップリーダーがいたこともありますが、当時の佐賀藩は長崎警備を担当していたことから、いち早く西洋文明を取り入れることができ、それに刺激された若者たちがたくさんいました。その頃の佐賀を知るだけでも、勇氣や力がわいてくるんじゃないでしょうか。

**学長** 私自身も地元が佐賀ですが、あらためて思うことは歴史的にみても佐賀は素晴らしいところだということです。近代医学の発祥は佐賀ですし、明治の産業革命の原動力になったのも佐賀。私たちは、そういった佐賀の



**学長** これからは不確実性の時代に入っていくので、多様性のある人間を育てないと社会の変容に対応できません。佐賀大学でもそういった教育に取り組んでいます。多様性のある人材の教育というのはなかなか難しいですね。



**古川先生** 多様性はものすごく大事なことで、私は新しい発展の姿は多様な人々との「出会い」から生まれると思っています。つまり自分とは違った業種や違った経験を持つ人、違った国の人など、自分と異なる人と出会い、交流することで多様性のある人間が形成されると思います。そういったことを通して、学生の皆さんには知識だけでなく、物の考え方、発想の仕方、生き方を身に付けて欲しい。

**学長** 古川先生は国家公務員としては頂点のポストで長い期間ご活躍されてきましたが、佐賀大学でも公務員を志望する学生がたくさんいます。そのモチベーションはさまざまですが、公務員志望が多いことをどう思われますか。

**古川先生** 非常にいいことだと思います。ただし、どこでもいいから公務員になりたいのではなく、国や地域社会のためにこういうことがやりたい、という目的意識を持つことが大切です。目的意識があつて、意欲があれば勉強の仕方も違ってくるし、合格率も高くなるはず。ただ単に公務員になりたい人と、やりたいことや目的意識があつて公務員になる人では、その後の人生も大きく違ってくるはずですよ。

**学長** 試験に合格するためのノウハウだけでなく、「公務員になってどんなことをやりたいのか」、「なんで公務員になりたいのか」、具体的な目的意識を持てるような進路指導が学生たちに必要ですね。



**古川先生** 「安定しているから」という理由だけなら、公務員にならない方がいい。中途で意欲を失ってしまいがちです。生涯の職業を選ぶにはきつと必ず強い動機があるはずですよ。いかなる時代でも、宝は自分の目の前にあると思つています。「やりたいこと」、「目指すべきもの」がきつとあるはずなのに、それに気付いていないだけ。佐賀の学生たちに申し上げたいのは、君たちには潜在能力があるということ。その潜在能力を生涯のうちにとれくらい出せるかが勝負だと思つています。自分でいうのもなんですが、私自身、勉強ができる能力はそんなに高くはなかったけれど、潜在能力は100%出しきつたという自信があります。そういった潜在能力を若者なら誰でも持つているし、自分を信じて、自分の思いを貫くことができれば存分に発揮できると思つています。

**学長** 冒頭で、附属病院の30周年で先生に記念講演をしていただいた話をしましたが、その時に「志は高く、心は寛(ひろく)、思慮は深く、頭は低く」とおっしゃっていたことをよく覚えております。まさに、古川先生の生き方その

ものですよ。

**古川先生** 当時のことを覚えてくださつていて、本当に恐縮です。「志は高く」とは、自分以外のために努力したことが、社会的に志の高いことだと評価される世の中にしたということ。「心は寛く」の「ひろく」は寛容の「寛」で、物質的に豊かなはずの現代社会が妬み嫉みの世界になつているので、心を広く持ち目線をもっと上げればもっと住みやすくなるんじゃないかということ。「思慮は深く」は、考えるのは当たり前のことで、大事な事柄は考え抜くということ。「頭は低く」は、自然災害などこの世の中には、人間の知恵が及ばないものがあることを知ること。恐れを知ることでは人は謙虚になりますし、謙虚になることで頭が柔軟になります。傲慢になつたら、他人の意見を聞かなくなりやすからね。

**学長** プラス思考で物事を考える大切さもお話しされていましたね。

**古川先生** かつて小淵首相が、コップの水を例にして国民に意識の転換を求めた演説をされました。「コップ半分の水を『もう半分しかない』と考えるか、『まだ半分も残っている』と考えるか」というもので、当時の日本は不景気で元気をなくしていたので、悲観的にならずに元気を出そうじゃないかということ。発言されたことでした。世の中にはいろんな問題があるけれども、元気をだしプラス思考で生きていこうという国民に対する呼びかけですね。

**学長** まさに古川先生が貫いてこら



れた信条ですね。これは、人生に通じることですから、先生からのメッセージとして学生だけじゃなくて教職員にも伝えたかったです。

**古川先生** 佐賀大学には、佐賀という地域の特性を踏まえながら、特色と個性のある大学として地域社会を引っ掛けていたと思います。もちろん地域社会だけじゃなく、有意義な人材を日本中に輩出されるわけですから、佐賀大学で育つた人材は細かい知識だけじゃなく、多様性のある骨太の生き方を身に付け、チャレンジ精神を持っていると評価されることを心から期待しています。

**学長** 本日は大変お忙しいところ、貴重なお話をさせていただき本当にありがとうございました。

# 節目の年に、新たな挑戦

## 佐賀大学オリジナル清酒「悠々知酔」



麴室での作業

**今**年で10周年を迎えた佐賀大学オリジナル清酒『悠々知酔』。昨年に引き続き佐賀県多久市にある東鶴酒造にご協力いただき、指導教員の小林元太教授と学生7人で12月末から約2か月間かけて『悠々知酔』の製造を行いました。

洗米、麴室での作業、仕込み、日本酒度・酸度等の分析、しぼり、瓶詰め、ラベル貼りといった原料から製品に至るまでの全工程を杜氏の野中保育社長と蔵人の方にご指導していただきながら学生たちの手で製造しました。

昨年は、「火入れ」、「生酒」、「おりがらみ生酒」の3種類の特別純米酒を造りましたが、今年はこの3種類の特別純米酒に加え、「生」

の純米大吟醸酒の製造

にも挑戦しました。また、昨年は「おりがらみ生酒」のおりが少なかつたという反省を生かし今年はおりを増量してみました。

商品としての販売は、特別純米酒「おりがらみ生」と特別純米酒「火入れ」は単品で、特別純米酒「生」と純米大吟醸酒「生」はセット販売にしました。原料の米や水は全く同じでも、仕込み配合や精米歩合（お米の磨き方）の違いで味に違いが出るということを飲んでいただく方に知ってほしいという思いでセット販売にしました。このコンセプトがよりわかりやすく伝わるように特別純米酒は味濃く、純米大吟醸酒はよりきれいに



ばば しゅう いち ろう  
馬場 嵩 一 朗

農学部 生命機能科学科  
応用微生物学研究室3年

造ることを目指して仕込み配合を自分たちで考えました。

さらに、今年は味だけではなく外見にもこだわりたい、という強い希望が学生からあがったことから、ラベルと箱のデザインを学生たちで考えました。常に新しいことに挑戦したいという学生の思いも伝われば嬉しいです。

自分たちの手で日本酒を造ったことで日本酒製造の苦労や難しさを体験できました。そして、この体験が僕たちの日本酒に対する興味をより一層深めてくれました。

私たちが造った『悠々知酔』を飲んでいただいた方々がおいしいと感じてくれることを願っています。



しぼり



仕込み



東鶴酒造外観

# 少年サポートボランティア るびなす



運動会后、子どもに送られる盛大な拍手

**る**びなすという花があります。花言葉は「あなたは私の安らぎ」。



地域の方から手渡しで頂く努力の証

私たち少年サポートボランティアるびなすは、家庭や学校で「居場所がない」「さびしい」と思っている子どもたち、心の拠り所を探している子どもたちと共に、「居場所づくり」をしています。佐賀県警が主体で行っている「居場所づくり」に、我こそはと声を上げたメンバーが、るびなすのボランティアとして参加します。この「居場所づくり」では、県内の不登校や非行、犯罪被害など、さまざまな悩みを抱える少年・少女たちとともに佐賀県警、保護者、地域の方々、大学生が一つの場に集い、月に2回活動を行います。



第1回「るびなす」勉強会

不登校や非行、犯罪被害という言葉を知ると、どこか近寄りたく感じる方が多いかもしれません。最初は、私もそのうちの一人でした。しかし、ここに参加する子どもたちはとても生き生きとして、素敵な笑顔を見せてくれる子ばかりです。多久市の廃校を活用した拠点「わだち」の活動では、大人と子ども、警察と非行少年、教師と子どもなど、役職や身分の垣根を越えて、子どもたちの気持ちに寄り添い、皆がそれぞれを受け入れる温かい雰囲気であふれています。



「わだち」にて、みんなの手形で作り上げる横断幕



大人も子供も楽しんだもん勝ち!

この活動に参加するようになってから、子どもたちの言葉やふるまい、見かけだけで判断することを止めようと思うようになりました。



こすぎ あやか  
小杉 綾花

るびなす代表  
文化教育学部  
学校教育課程4年



天山登山の様子

た。言葉やふるまいの裏に隠れられた本当の気持ちに寄り添い、ともに笑ったり泣いたりすることで、知らず知らずのうちに、私と子どもたちとの居場所になっていきます。子どもたちと大学生、保護者や地域の方々みんなで作りだす家族のような雰囲気は、誰も拒まれることはなく、誰もが安らげる居場所です。子どもたちのために力を貸して下さる方、また、自分の居場所が欲しい方、興味がある方は、是非来てください! 家族になりましょう!



地域の方に教えてもらいながら、杵を打つ子どもたち

連絡先

佐賀県警察本部 少年課  
少年サポートセンター  
TEL 0952-24-1111

# 人工関節術後感染症の撲滅に向けて

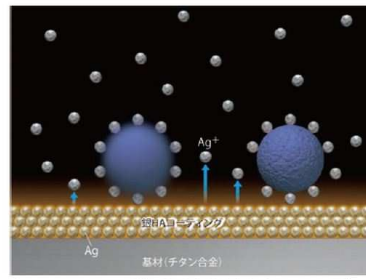
〜世界初の抗菌性人工関節の開発〜

加齢やけがで関節が傷害されると、股関節や膝関節といった体重を支える関節の場合は歩行に支障をきたすこととなります。最終的には壊れた関節を人工の関節に置換する手術があり、これでまた元の痛みのない生活にもとることができず。この10年で人工関節は大きく進歩・発展し、今や日本だけでなく13万例以上行われる日常的手術になりました。術後の回復も格段に速くなり、また長期的に使えるめども立ってきています。しかし、少ないながらも人工関節置換術に伴う重篤な合併症もあって、解決されなければならぬ課題となっています。中でも人工関節術後感染症はその最たるもので、術者にとつても、患者さんにとつても、これほど残念な結果はありません。

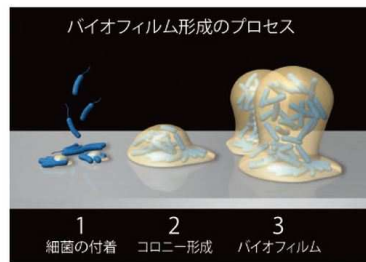
一旦異物である人工関節（インプラント）



ト）に細菌が付着すると、洗浄し、抗生物質を投与しても、難治性になり、除去せざるを得なくなる場合があります。この感染症を防ぐために、人工関節自体に抗菌性を持たせようと考え、10年前から研究を



銀HAコーティング層から銀が溶出するイメージ



細菌のバイオフィーム形成プロセス。銀イオンはこのプロセスを阻害し、感染症を抑える。

開始してきました。いろいろな候補の中から最終的に、抗菌素材として銀を選択しました。銀は日用品の抗菌素材として、制汗スプレーから傷テープ、ソックスなどさまざまな製品で使われている抗菌効果の高い無機材料ですが、生体内で使う以上、安全性が最も重要になります。細菌は死滅させ、かつインプラントと接する骨の細胞には障害を与えないような局所銀イオン濃度がどれくらいなのか、どういう形でインプラントに銀をコーティングさせるのか、試験管レベルから動物実験まで、膨大なデータの蓄積が必要でした。骨の成分であるHA（ハイドロキシアパタイト）の中に酸化銀を混ぜ、1400℃の高熱でインプラント表面に吹きつける新技術で目的とする加工が達成されました。細菌が作るバイオフィームという難治療物質

の生成阻害にまで効果があることが分かりましたし、銀は微量で効果を発揮し、かつ毒性は無視できるものでした。そして10年の時が経ちました。厚生

労働省管轄の独立行政法人であるPMDA（医薬品医療機器総合機構）TVドラマ「下町ロケット」でもできました。より、20例の臨床試験を行うよう指示があり、その術後1年間のデータを解析・報告し、臨床的に高い安全性を示すことができました。そして平成27年9月、京セラメディカル株式会社に製造承認が下り、今年の4月に遂に世界に先駆け、日本の販売が決定しました。標準型の人工関節に抗菌性能を付与した製品は世界初であり、佐賀大学と京セラメディカルとの産学連携の成果で、10年間の苦労が報われたところです。

今後はこのインプラントが一般に使われるようになって、本当に感染症が減ったのかどうかを検証しなければなりません。何万人ものデータの集積が必要です。また人工関節以外にも脊椎インプラントや骨接合材、人工歯根など抗菌にすべきインプラントがたくさんあります。また銀以外にもさらには有効な抗菌素材があるかもしれない。この研究には終わりがなく、興味のある研究者が引き続き出てきてくれるよう願っています。



馬渡まさあき 佐賀大学医学部 整形外科学講座 教授



# 地(知)の拠点

## 地(知)の拠点整備事業

佐賀大学と西九州大学は、佐賀県全域をキャンパスと位置付け、学生・教職員による実践的な教育研究を通して、地(佐賀県域)と知(教育研究)のアクションを進めることで、佐賀の地における知の拠点としての機能強化を実現するため、両大学の教育・研究シーズを集約し、佐賀県域が抱える地域課題としての中心市街地・離島・山間地域の活性化、地域産業の振興とコミュニティの再生、地域医療・保健・福祉の向上、子どもの教育支援、高齢者の健康改善および地域環境の保全等の解決に向けた12の教育研究プロジェクトを推進しています。(文部科学省平成25年度採択事業)

このプロジェクトでの佐賀大学の取組を紹介します。

## 天然記念物ヤマネの新たな生息地

私たちは2年生の後期からシステム生態学分野に所属し、県内のさまざまな生物を対象とした研究に取り組んでいます。

中でも、私たちが研究しているげつ歯類のヤマネは、国の天然記念物に指定されており、手の平におさまるほどの小柄な体に、背中に走るこげ茶色のライン、ふさふさした尾が特徴の森のアイドルです。

ヤマネは夜行性で樹上に生活しているため、人目につくことがほとんどなく、その生態も謎に包まれています。そこで、森の中に赤外線センサーカメラと巣箱を仕掛けて、生息範囲や活動性などを調べています。地元で自然保護に携わる佐賀自然史研究会の皆さんと一緒に、多良岳や経ヶ岳に通いながら、希少生物の生態に配慮した環境保全のあり方について議論しています。

平成26年度の調査では、県内におけるヤマネの生息を15年ぶりに確認でき、平成27年度には多良山系における新たな生息地を確認できました。その一方で、多良山系の周りの山々には、ヤマネ



巣箱を歩き回るヤマネ



動画でも撮影できました



が生息していないことも明らかになりつつあり、県内におけるヤマネの分布域はごく限られている可能性があります。

一連の調査を通じて、ヤマネの他にもたくさんの動植物たちに出会うことができました。山での調査は過酷だったり、雨に打たれながらだったり、大変だと思いうこともあります。しかし、山の空気は新鮮で、木漏れ日も心地よくて、毎回調査がてら山歩きを楽しんでいます。

「佐賀は田舎だ」と、みなさんもよく耳にしたり、口にしたりするかもしれませんが、それは、裏を返せば、ヤマネが棲む森、貴重な魚やトンボが暮らす佐賀平野のクリーク、そしてワラスボやムツゴロウ、シチメンソウなど、佐賀ならではの動植物が見られる有明海の泥干潟など、大学の周りに豊かな自然が残されているということです。

この佐賀の素晴らしい環境の中でさまざまな生き物と出会いながら、これから調査を進



現地で赤外線センサーカメラを設置中



佐賀自然史研究会の方々と

非佐賀の大自然に触れてみませんか。めていきたいと思っています。皆さんも是非



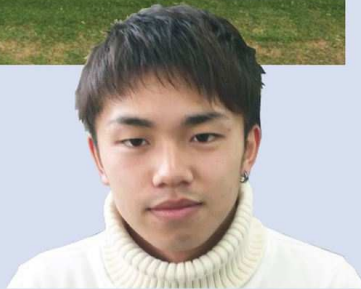
よし おか ひろ や  
吉 岡 裕 哉  
農学部応用生物科学科3年

あか し か すみ  
明 石 夏 澄  
農学部応用生物科学科3年

サッカー部(鍋島キャンパス)



主将  
かわ なみ たける  
**川波 建**  
医学部医学科3年生



私たち佐賀大学医学部サッカー部は部員31名、マネージャー20人の計51人で活動しています。

3月から4月にかけて行われる九州山口医学生体育大会と、8月に行われる西日本医科学生総合体育大会での優勝を目標に、週に4日、医学部のグラウンドで練習しています。部員は、長年サッカーをやっている人から初心者までおり日々高め合っています。

週に4日の練習では、自分達で練習メニューを組み、どうすれば強くなるか試行錯誤して考え、その結果、昨年は西日本医科総合体育大会3位という成績を残すことができました。成績を残すことの感動は本当に頑張ってきたからこそ味わえるものだと思います。この結果に満足せず次こそは優勝したい、それを目標に今も活動中です。

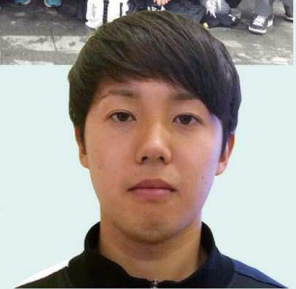
また、日々の練習だけでなく、大会での帰り道も旅行しながら楽しんだり、久留米大学医学部との定期戦や交流会など、沢山の楽しいイベントもあります。Facebookにて写真を公開しているので是非ご覧下さい。



サッカー部(本庄キャンパス)



主将  
さか い りょう  
**坂井 涼**  
文化教育学部人間環境課程3年



私たちサッカー部は部員60名、マネージャー4名、総勢64名で活動しています。週6日は大学のグラウンドで練習し、土日は公式戦や練習試合をしながらレベルアップを図っています。我がサッカー部内には九州大学リーグ1部、佐賀県社会人リーグ1部、佐賀県社会人リーグ2部の3チームが存在し、自分の能力にあったカテゴリーを選択しプレー出来るのが特徴の1つです。そして各カテゴリーでリーグ戦上位入賞、さらに天皇杯佐賀県予選優勝という高い目標を立てて楽しみながら日々の練習に励んでいます。練習や試合で忙しくても、勉強やアルバイトと両立させている部員も多く、また、少年サッカーの指導などにも力を入れることができ、充実した4年間をおくることできると思います。興味がある方は是非、公式ホームページやサッカー部ツイッターをご覧ください！マネージャー也大歓迎です。



佐賀大学の酒

# 悠々知酔



佐賀大学公認  
マスコット  
キャラクター/  
カッチーくん

ゆうゆうちすい



- 純米大吟醸酒生 & 特別純米酒生のセット ..... 3,200円
- 特別純米酒おりがらみ生 ..... 1,500円
- 特別純米酒火入れ ..... 1,400円

農学部附属の農場で収穫した米と、農学部応用微生物学研究室で分離した清酒酵母を使用し、学生たちが酒造りをした佐賀大学ブランドの清酒「悠々知酔」が今年もできました。

佐賀県内の酒販店または佐賀大学生協でお買い求めいただけます。ぜひご賞味ください。

佐賀大学生協 tel 0952-25-4450

## 平成28年度 ● 学年暦

### ■前学期

- 4月1日 ● 前学期始、春季休業(4月7日まで)
- 4月5日 ● 平成28年度入学式
- 4月6日 ● オリエンテーション
- 4月8日 ● 前学期開講
- 8月1日 ● 前学期定期試験(8月5日まで)
- 8月9日 ● 夏季休業(9月30日まで)
- 9月23日 ● 平成28年度学位記授与式(9月期)
- 9月30日 ● 前学期終

### ■後学期

- 10月1日 ● 開学記念日・後学期始
- 10月3日 ● 平成28年度大学院入学式(工学系博士後期課程等)
- 10月3日 ● 後学期開講
- 12月27日 ● 冬季休業(1月5日まで)
- 2月8日 ● 後学期定期試験(2月14日まで)
- 3月24日 ● 平成28年度学位記授与式(3月期)
- 3月31日 ● 後学期終

## 佐賀大学メールマガジン登録受付中!!

読んで役立つ情報満載!!

登録は → <http://www.saga-u.ac.jp/mailma/>

または



UNIVERSITY  
ACCREDITED  
Mar. 2010

## 編集後記

「芸術地域デザイン学部」の誕生という明るい話題が本誌の特集です。全国的に見てもこれまでにないユニークな学部です。美術館を有する唯一の国立総合大学にふさわしい学部として、芸術家の育成だけでなく、広く地域社会の設計や芸術関連のマネジメントやプロモーションなどを通して地域創生に寄与できる、新しい時代が求める多様性のある人材の育成を目指しています。お陰さまで、新学部の志願倍率は5倍を超え、期待の高さが伺えます。

もう一つの特集は、本学の就職支援事情の紹介です。就職状況は、今や大学の教育の成果、ひいては実力とも見なされ、大学選びの最重要項目となっています。本学でもキャリアセンターを中心に最大限の支援を行っています。

新学部が誕生したことで、本学は4月から6学部体制となり、期待も膨らみますが、同時に就職など結果も出さなければなりません。期待に応えられるよう、教職員一同、気持ちを新たにしています。

(広報室長 早瀬 博範)

作品名 「七つの世界は世界の七つ」

(第60回 美術・工芸課程卒業制作展)

にし かわ とも なり  
西川 智成 (文化教育学部美術・工芸課程4年/窯芸専攻)



【作者プロフィール】

1994年 熊本県生まれ  
2012年 佐賀大学文化教育学部美術・  
工芸課程入学

【作者コメント】

2年ほど前から動物を焼き物で表現しています。今回制作した7匹のサル達は、互いが違うことを知りながら、互いに価値を認め合っています。作品を通して何かしら感じていただければ幸いです。

本学の情報をスマートフォンで見ることができます。簡単アクセスはQRコードをご利用下さい。  
スマートフォン用 URL: <http://www.saga-u.ac.jp>

